



いいたて

# 議会だより

令和4年3月定例会

No. 94  
2022.5.20

発行：福島県飯館村議会  
編集：議会広報編集特別委員会

5月3・4日 わくわくするイベントが開催されました！



山の向こうから  
〔旧草野幼稚園・草野小学校〕



オーガニックコスメブランドSHIRUBE



工房マートル



ニコニコ菅野農園



キッチントレーラーカフェ

図図倉庫(ズットソーコ)  
プレオープンイベント〔旧コメリ飯館店〕



図書コーナー

## 予算審査特別委員会 ..... 2～3

令和4年度一般会計予算は総額112億8,800万円  
昨年度に続く大型予算を可決すべきものと決定

## 議案審議「ザ・議論」 ..... 4

長泥の特定復興再生拠点エリア造成工事、  
道の駅までい館の指定管理者の指定等について議論

## 一般質問「村政ここが聞きたい!!」 ..... 5～11

6名の議員が登壇、村民の森あいの沢の利活用や  
村の農業振興・農業者支援について問う

## 審議結果 ..... 12～13

## 議会の動き・常任委員会活動・編集後記 ..... 14

令和4年度当初予算

佐藤健太委員長

佐藤眞弘副委員長

# 予算審査特別委員会

一般会計予算は  
112億  
8,800万円

令和4年度当初予算は、予算審査特別委員会を設置し、委員長に佐藤健太議員、副委員長に佐藤眞弘議員を選出、3月8日から3日間一般会計と特別会計を審査いたしました。一般会計は、前年比0.8%の増の112億8,800万円、6つの特別会計は前年比5.3%減の22億4,832万円、予算総額は、前年比0.3%減の135億3,632万円となり、当初予算の規模としては昨年度に続く大型予算となりました。

委員の活発な発言により審査が行われ、新年度一般会計は賛成多数で可決、6つの特別会計は全会一致で可決・決定されました。

## 健全な財政運営について

**質問** 全体予算について、財政指標等を用いて健全な財政状況下で執行されているか。

**答弁** 国の方で示している財政指標には様々なものがございませうが、他の自治体と比べても健全な財政を保っています。

## 決算委員会での質疑・指摘は今回の予算にかかっているか

**質問** 昨年の決算委員会の中でいろいろ質疑・指摘があった中で今回の予算にどう生かされているか。

**答弁** 前年度の決算を踏まえ、4つのキーワード、1.「次世代継承」、2.「なりわい」、3.「10年後を見据える」、4.「帰還困難区域」を基本にランニングコストを見据えて当

初予算を編成しております。

ただ、削るだけでなく、重要な事業には重点配分し村民の福祉の向上を考えています。

## きこりの改修について

**質問** きこりの改修工事として3億5,000万円ほど計上しているが、耐震構造が懸念されることから、建て直したほうが良いのではないか。

**答弁** 建物2階の部材の筋交いに当たる部分がか緩んでいるという結果が出ております。したがって交換、修繕で行いたいと考えております。



▲宿泊体験館きこり

## 村民の森あいの沢の整備について

ます。建替をするにも、該当する補助金が今現在なく、過去は農水省の補助事業で建てましたが、同様のものを使うことができません。加えて、農水省の補助年限が残っているので補助金の返還が生じてしまうため、修繕を検討しているところです。

**質問** あいの沢のオートキャンプ場が春にオープンするというところで予算が計上されているが、あいの沢全体の放射線対策はどうなっているか。

**答弁** モニタリングポストはきこりと管理棟の前にございますが、定期的にあいの沢全体の線量を測りながら、案内の地図を用意するなど、分かりやすい表示に努め、利用者の方に

## 地域みがきあげ計画について

**質問** 村内の伝統芸能を維持するためには費用が足りないという声がある。継承をするには予算が必要だと思いませんか。

**答弁** 伝統芸能は、ふるさと資源であると考えています。生涯学習事業に加え、地域みがきあげ計画にあげていただき、みがきあげよう！ふるさと補助金も活用いただきました。また、10年後を見据え、継承のための財源の確保を検討して参ります。

## いきいきわくわく学びの旅事業について

**質問** 子供を対象にした体験事業や、海外へ

の語学研修事業は、希望の里学園の生徒だけでなく、住民票がある子供にも広く案内をすべきである。

**答弁** 以前は避難先の子供たちも対象にしていましたが、対象年齢となる子供たちは震災当時に生まれた世代のため、希望の里学園生とはほとんど面識がないと思われまます。本事業の目的は、ふるさと学習を受けている希望の里学園生が、さらに見識を広げることです。村外の学校に通う村の子供たちには、もう一度村に関わりを持ち、楽しいふるさとづくりを実感してもらうためにも、村内ツアー事業等にご参加いただきたいです。

**土地分筆等業務について**

**質問** 土地分筆等の業務の3,000万円の

内訳を伺う。

**答弁** 測量調査士にお願いをした一般分もございいますが、一つは深谷の復興拠点で認定しました2本の村道関係、そしてもう一つはふれ愛館関係が内訳の主なもの、令和4年度に測量・登記事務を進めて参ります。

**交流・移住・定住事業について**

**質問** 委託料の交流・移住・定住等促進支援業務の7,800万円の内訳を伺う。

**答弁** 効果的な交流・移住・定住を図るための委託費です。内訳は、相談窓口設置に3,300万円、パンフレット作成等情報発信に850万円、地域おこし隊の支援に1,300万円を計上し、これらの業務の交通費や管理費に2,200万円を計上して

おります。

**質問** 移住・定住促進ツアー企画・運営業務は、年何回のツアー企画を想定した予算なのか伺う。

**答弁** ツアーですが、主に関東圏からなるべく多くの方々に、飯館村を訪れていただくような機会を作りたく、年3回程度の実施を計画しております。一回あたりの人数は10名程度想定しております。

**訪問診療事業について**



**質問** 訪問診療事業が新規事業として上がっているが、どのような診療形態・方針で事業を進めるのか伺う。

**答弁** 基本は週1日いたてクリニックでの診療をお願いして、他日

については、訪問診療に取り組んでいただくということを想定しております。昔のようにお医者さんが自分たちの近くにいらっしゃるという環境を構築して参ります。

**看護学校負担金について**

**質問** 相馬看護専門学校、公立双葉看護学院の負担金が、合わせて毎年480万円ほど計上されているが、23年間で9名しか入校されていない。看護・医療生は大変大切であることから、広報などで村民へ周知を図れないか伺う。

**答弁** 相双地域に看護学校、准看護学校があるということが、十分に周知されていないかたか認識しております。タイミングをみながら、しっかりとした取組をしていきたいと考えております。

令和4年度各会計の当初予算額と採決状況

会計名	当初予算額	前年比(%)	採決の状況	
一般会計	112億8,800万円	0.8	賛成多数で可決	
特別会計	国民健康保険特別会計	8億1,660万円	▲4.5	全員賛成で可決
	簡易水道事業特別会計	1億4,447万円	▲22.1	〃
	農業集落排水事業特別会計	5,273万円	▲68.9	〃
	介護保険特別会計(事業勘定)	11億5,118万円	6.0	〃
	介護保険特別会計(サービス勘定)	659万円	▲9.0	〃
	後期高齢者医療特別会計	7,675万円	4.4	〃
合計	135億3,632万円	▲0.3		

# ザ・議論

1月臨時会では予算案件1件、その他案件4件、計5件が審議され、3月定例会議会では、予算案件12件、条例案件2件、人事案件2件、その他7件、承認案件1件、計24件の審議がなされました。

## 議 案 審 議

### 第一回臨時会

#### 特定復興再生拠点工 リア造成工事請負契 約の変更について

**質問** 労働者の放射線を減額すると言っているが、なぜ減額になったのか、測定の様子や測定されたのか伺う。

**答弁** 帰還困難区域とすることもあります。言うこともありますが、この作業自体がいわゆる特定線量下業務、毎時2.5マイクロシーベルトを上回る場所で作業する場合には事業者が課せられた責任がございませぬ。

事前の現地調査もその義務であり、8月の頭に場内19箇所を地上10センチと1メートルで計測し、その平均が毎時2.5マイクロシ

ーベルト以下であることを確認しました。

そのため、特定線量下業務の縛りから外れ、計測業務や従業員の管理業務が必要なくなり、金額的なところが削減されたところです。

ただ、帰還困難区域ですので、この中での作業であること自体は変わりませんので、当然特殊勤務手当は変わらず支給されることになっていきます。



▶現在の長泥地区の特定復興再生拠点工リア造成工事の様子（令和4年4月時点）

### 第二回定例会

#### 一般会計補正予算 （第10号）について

**質問** 民生費の「人工透析患者通院交通費」が39万4,000円の減額だが、これはなぜ減ったのか伺う。

**答弁** 今回の人工透析患者の交通費については実績に基づいて減額をさせていただきました。限度額があり、一回あたりの助成となっています。

**質問** 村に戻っている患者さんだけでなく、村に戻っていない避難している患者さんを含め、全体で人工透析患者は通院費が出るのか伺う。

**答弁** 村内村外の居住に関わらず、飯館村民であれば助成の対象になるということであります。

#### いいたて村の道の駅 までい館の指定について

**質問** 指定管理の期間を5年間とする理由と妥当性を伺う。

**答弁** 経営がようやく黒字化してきたところであり、1期ごとの実績を上げていくことも大切ですが、長期的な視点に立って安定的な経営を心がけることは重要です。そういった長期ビジョンを作る上でも5年間と言うのは有効と思っており、安定性を見込んで期間を設定しました。

**質問** 次の5年間の事業計画をしっかりと持ち、無計画にだらだらという運営はしないように気をつけて経営をしていっていただきたい。

**答弁** 大切な指摘をいただきましたので、しっかりと計画的に言う

うことを念頭に置きたいと思えます。

**質問** 長期的な村と村民の本当の拠点になるかという部分で大きなリフォームも含めて考えることも必要ではないか。

**答弁** 道の駅の中の配置等々のご指摘かと思いますが、まさしく今回の指定管理の長期的な部分を示すことが出来ればそういった長期計画の中でどういった改革が必要で、配置換えが必要かということも検討できるかと思っています。



▶いいたて村の道の駅までい館

# ズバリ 村政

ここが ききたい!!

3月定例議会の一般質問には6議員が登壇し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載しています。

ページの都合上、全てを議論を載せることはできません。ホームページには、本議会の会議録を掲載しているほか、各議員のページのQRコードを読み取ると、一般質問の配信動画を見ることができます。併せてぜひご覧ください。

※ご利用の際、インターネット等の通信料は個人負担となります。

※配信動画の視聴にあたり、ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

※一般質問とは  
議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針案等について、村の執行機関などが見解や取り組みについて質問し、提案・誘導していく政策議論です。

- 菅野新一 議員 P9
- 1 村の農業振興対策について
  - 2 深谷復興拠点の周辺の景観について

- 佐藤眞弘 議員 P8
- 1 希望の里学園における今年度の英語教育の取組みについて

- 飯畑秀夫 議員 P7
- 1 新型コロナウイルスワクチンについて
  - 2 遊休農地・耕作放棄地の現状と課題
  - 3 少子化対策について
  - 4 地域環境について

- 花井茂 議員 P6
- 1 村民の森あいの沢について
  - 2 行政サービスのデジタル化について

- 佐藤八郎 議員 P11
- 1 自然環境の安全について
  - 2 原発事故で奪われた村民生活について
  - 3 恵みの村内産について
  - 4 原発事故は終了した事故なのかについて
  - 5 教育行政について

- 横山秀人 議員 P10
- 1 新規就農者及び営農再開農家・農業法人等への支援について
  - 2 放射線量の数値をお知らせする方針及び方法について
  - 3 住民懇談会の実施について
  - 4 行政窓口の避難先出張所の開設について
  - 5 バリアフリー対策の取り組み状況等について
  - 6 牛肉フェスティバル、ホラ吹き大会の復活について



花井 茂 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 村民の森あいの沢の再生・再開について伺う

**答** 現在すぐに利用提供ができるオープンキャンプサイトを令和4年春に再開することいたしました

**質問**

現在「きこり」

あいの沢活用検討プロジェクトチーム」が立ち上げられ、利活用方針検討が進められているが、検討状況について伺うと共に、復旧にこだわらない整備の検討が必要と考えるが、プロジェクト会議ではどのような意見が集約されているのか伺う。

**答弁** プロジェクト会議の経過ですが、令和

3年10月に職員10名で

構成する「きこり」あいの沢活用検討プロジェクトチーム」を発足し、官民合同チームの支援によるコンサルト会社を活用しながら、これまで5回の会議を開催しております。その中で、きこり宿泊棟の改修工事の検討を進めるとともに、現在すぐに利用提供ができるオートキャンプサ

イトを令和4年春に再開するとのこといたしました。合わせて自然体験学習館の修繕及び浮き橋前サイトの炊事場排水設備の整備を行い、順次利用エリアを拡大していく事を確認いたしました。



▲休園前のキャンプ場の様子

**質問**

あいの沢の再開については、放射線量がネックになるのは必然と考える。周辺の放射線量の空間測定は行われているのか伺う。

**答弁**

プロジェクトチームでも計測をしており、問題があるような数値は出ておりませんが、木道など若干高い部分も散見されましたので、対応して参ります。な

**行政サービスのデジタル化について**

お、モニタリングポストが管理棟前にございますので、利用者の皆さんは常時、数値を確認することができます。

**質問**

国が推進する行政サービスのデジタル化のキーポイントの一つはマイナンバーカードである。マイナンバーカードの村内の普及率について伺う。

**答弁**

現在のマイナンバーカードの普及率は国全体で41・8%。村では27・2%となっております。マイナンバー制度は「行政の効率化」「村民の利便性向上」「公平・公正な社会の実現」を図る事を目的に導入され、国民生活を支える社会基盤となっていくものであり村としてもマイナンバーカードの重要性はますます高まるものと認識しています。

**質問**

他の自治体ではコンビニエンスストアでの住民票等の取得が進められているが、この流れに対して村内外居住の住民サービスとしての村の考えを伺うと共に、システム構築の初期費用・維持管理費から一件あたりの発行コストを明かにし、共通認識を持った上で判断すべきと考えるが村の考えを伺う。

**答弁**

現在マイナンバーカードを利用しているコンビニ交付を導入している県内の自治体は、59市町村のうち約半数の28市町村です。導入した自治体を参考にシステム構築に費用を調査



▲マイナンバーカード

したところ、導入費用には約4,000万円、維持経費は年約400万円の見込みであり、導入自治体の発行件数の中でコンビニ交付が占める割合は4%との調査データがあります。村の発行件数に照らし合わせると、10年間の1件あたりの発行コストは約4万円と試算されます。今後、政府が強く推進していくデジタル技術を駆使した行政サービス「自治体DXデジタル・トランスフォーメーション」の動きを注視しつつマイナンバーカードを利用したコンビニ交付についても検討して参ります。なお

現在も、役場への来庁を必要としない郵便請求による各種証明書の取得が可能であります。役場への来庁が困難な方は、積極的に郵便請求をご利用頂きたいと考えています。



飯畑 秀夫 議員

動画視聴は  
こちらから



## 質 子どもの新型コロナウイルスワクチン接種について伺う

**答** 福島圏域内自治体の連携により、「NCVふくしまアリーナ」を会場に集団接種を予定しております

**質問** 厚生労働省は令和4年1月に、5歳から11歳までの子どもも新型コロナウイルス接種の対象に加えることを特例承認した。本村の対応と対策を伺う。

**答** 村民の5歳から11歳までの接種対象者は220名ほどと想定しており、新型コロナウイルス

ており、2回目につきましても1回目接種から3週間の4月に6日間予定しているところです。なお、12歳未満のワクチン接種につきましては、努力義務ではないので、保護者等の意向を確認しながら接種を進めて参ります。

**質問** ワクチンの小児接種については、福島市、伊達市、桑折町、国見町、飯館村の福島圏域内自治体の連携により、「NCVふくしまアリーナ」を会場に集団接種を予定しております。

**答** 圏域による集団接種は、3月中旬から土日を含め6日間予定し

## 遊休農地・耕作放棄地の現状と課題について

**質問** 震災前、本村の基幹産業は、農業であった。農地法に基づく、本村農地の面積を伺う。

また、農地の売買、貸借があれば件数と面積及び農地法第3条規定による本村の農地下限面積はいくらか伺う。

**答** 農地面積は約4,127haです。内訳は田が1,379ha、畑が1,269ha、採草放牧地が1,479haであります。農地法に基づく売買及び貸借の件数は令和3

相馬郡医師会長から推薦された者2名、相双保険所長、専門医師2名で構成されることになっており、常時設置しているものではなく、健康被害が発生した場合に速やかに設置します。

**答** 調査委員会は、相馬郡医師会長から推薦された者2名、相双保険所長、専門医師2名で構成されることになっており、常時設置しているものではなく、健康被害が発生した場合に速やかに設置します。

住者による農地取得、新規就農、定住人口の増加を図る目的などから、1a以上で農地取得可能としております。

**質問** 市民農園として貸し出すことはできないか伺う。

**答** 現在中間管理事業で農地集積するという方針で農地の利活用を図るため市民農園の農地活用は図っていないところでです。

**質問** 本村の人口増加と発展には、少子化対策が必要不可欠である。内閣府の交付金等を活用し、出会いの場等の提供はできないか伺う。

**答** 震災前と比べ、内閣府の「地域少子化対策重点推進交付金」の活用につきましては、結婚対策だけでなく、妊娠、出産、子育て支援として幅広くつかえる交付金ですので、有

効に活用できないか今後検討して参ります。

**質問** 冬期間、積雪時には除雪を行っているが、通勤、通学路と重なる凍結して滑りやすい箇所がある。それらの箇所を重点的に除雪や融雪剤を散布してほしいと要望があったが、本村の除雪体制や除雪費等は、十分確保されているのか伺う。

**答** 今年度においては、9業社と除雪委託契約を結び実施しております。一次路線、二次路線の除雪の距離は約211kmあり、一時路線は積雪が15cm、二次路線は30cmで出勤することとしております。除雪費は安全を確保するために、間に合う予算を確保していますが、支障をきたすところは、現場を確認し対応いたします。

効に活用できないか今後検討して参ります。



佐藤 真弘 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 希望の里学園における今年度の英語教育の取り組みについて伺う

**答** A L Tの活用とオンライン会議システムを活用し、小学校低学年から中学まで系統的に取り組んでいます

において系統的に英語教育に取り組んでおり、中学校の英語教諭2名及び常勤のA L T外国語指導助手1名という充実した指導体制で、学年の発達段階や一人一人の能力に応じたきめ細やかな英語教育を行っております。

特に、従来小学校教諭が行っておりました5、6年生の「外国語科」においては、中学校教諭による教科担任制での授業を行っており、また、全ての学年の授業においてネイティブスピーカーであるA L Tの指導による正しい英語の発音や表現に触れることができる素晴らしい環境で学習を行うことができっております。このことから、実際のコミュニケーションで活用できる知識、技能が育成されております。

質問 小中一貫校での9年間の義務教育で、特に英語教育への取り組み状況について伺う。

答弁 今年度の英語教育の取り組み状況について、文部科学省による新学習指導要領においては、3、4年生で

かにも英語教室の環境整備、教職員への授業支援など、英語教育全般にわたり幅広く活動をしており、教員の信頼も厚いため、英語教育の推進の大きく貢献しております。



▲A L Tとの英語授業の様子

また、後期課程の9学年においては、上智大学の留学生と英語での交流を通じて、外国語に関する興味関心とコミュニケーション力の向上が図られております。さらに、後期課程の生徒全員が英語検定を年3回受験しており、着実に英語力の向上が図られているところであります。

最後に、令和4年度は、これまでの取組を発展させるために、英語での学びを学校教育指導の重点事項に位置づけ、幼児期であることも園からの一貫した英語教育に取り組んで参ります。これからのグローバルな社会で活躍できる人材の育成に向け、今後も英語教育を推進して参ります。

今年度はオンライン会議システムを活用しての学びも積極的に進めております。前期課程では、アメリカ在住の学生や学校教師、県内の金山小学校や川内小学校とのオンライン交流活動を継続的に行っております。

質問 特色ある学校づくり補助金の使用実績と成果について伺う。

答弁 特色ある学校づくり補助金の使用実績と成果について伺う。

くり補助金ですが、英検のほかに漢検、数検も3回ずつ受験しております。特に英検においては、9学年では3級が学年相当ではあります。準2級の合格者を出すなど、素晴らしい成果も出ており、今後とも英語教育にも力を入れて参ります。

それから、いいアイデアに関わる費用、あるいはI C T機器、I C T教材等もこちらから支出しております。非常に学校でも有効に活用されており、成果も上がっております。







菅野 新一 議員

動画視聴は  
こちらから



## 質 村の農業振興対策について伺う

答 「農」の再生に向かって着実に進めていきます

質問 以前は生業（なりわい）または生きがい農業など、村独自の支援があったが、現在はどのような支援策があるのかを伺う。

答 農業の再生に向かって着実に進むために村独自の施策として、平成29年3月に飯館村営農再開ビジョンを策定し、ステップ1『農地を守る』、ステップ2

『生きがい農業』、ステップ3『なりわい農業』、そしてステップ4『新たな農業』を位置付け、段階的に、着実にステップアップできるような支援を行って参りました。ステップ1『農地を守る』取組として各地区での復興農業組合の設立を支援し、現在も継続しております。また、福島県営農再開支

援事業を活用した各種の保全や地力回復、獣害対策に関する補助を実施しております。

ステップ2『生きがい農業』では、避難指示解除後から令和3年度までの3年間、村単独の事業として『農による生きがい再生事業』を実施し、パイプハウスや生産資材導入経費の支援をしてきました。さらに令和3年度からは『生きがい農業』から『なりわい農業』にステップアップを目指す事業として、『生きがい農業』を創設し、新たに市場等への出荷販売を目指す農業者に対し、資材代等を補助す

る取組を始め、現在までに4件の活用があったところです。ステップ3『なりわい農業』では、『原子力12市町村農業者支援事業』いわゆる4分の3事業のかさ上げを補助してきました。さらに、『未来へつなぐいいたてのお米支援事業』、『農業用ハウス暴風雪被害対策事業』などを実施しております。

ステップ4『新たな農業』としては、新年度に畜産農家の繁殖計画の効率化や、和牛改良促進などを図る目的で、和牛遺伝子（ゲノム）評価を行うための支援のほか、スマート農業促進の実証モデル事業やスマート農業技術導入にかかる費用を支援するための事業、そして新たな特産品として『あぶくまもち』生産を支援するための事業などを、新年度に行うこ

とにしております。一方で、村の農業振興を図るためには、畜産物を生産するだけでなく、販売していくこと、販路を拡大していくことが大変重要です。これまで以上にJAふくしま未来との連携・協力した取組を進め、農業者への支援を継続して参ります。

深谷復興拠点の周辺の景観について

質問 道の駅前の県道12号線南側にある水田の景観を今後、どのような管理・運営をするのか伺う。

答 県道12号線をはさんだ道の駅の南側の水田につきましては、復興拠点エリアの一部として、地元地権者の方にご理解をいただきながら、平成29年度より、福島営農再開支援事業等を活用し、飯館村振興公社への委託の

もと、村を訪れた方に楽しんでいただけるように花畑として整備をして参りました。今後の管理運営についても、引き続き委託をして花畑の整備を継続するとともに、復興拠点のイメージを形成する意味でも、非常に大事な農地でありますので、景観に配慮し、活用を図って参ります。



▲昨年度の深谷南手の景観の様子



横山 秀人 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 住民懇談会の実施について伺う

**答** 令和4年度は住民懇談会を実施します

**質問** 私事ですが、1月から2月にかけて、伊達市・福島市・川俣町・飯館村で懇談会を開催した。「避難先近くに来てくれるから参加できた。」「飯館村の詳しい情報が聞けて良かった。」など、継続的な住民懇談会の必要性を実感したが、(こ)数年行っていない村主催の住民懇談会の実施につ



▲以前の住民懇談会の様子

**回答** 村の課題や要望など、あらゆる分野について伺う。

において、より多くの村民のご意見を聞く場として住民懇談会を実施します。ご要望、ご提案等については、広報紙等でその対応状況も含め公表していきます。

**新規就農者及び営農再開農家・農業法人等への支援について**

**質問** 水田活用直接支払交付金の拡充・見直しに対する、今後の村の対策を伺う。

**回答** 村内農家の所得減少(総額1,700万円以上)が予想されることから、村議会・町村会・被災市町村等関係団体と連携し、国への要望活動を継続して行います。また、認定農業者、補助事業活用者、新規就農者、若手農業者等との意見交換会や懇談会の実施を検討します。

**バリアフリー対策の取組み状況等について**

**質問** 役場周辺の石畳や石の階段について、つまずきやすく危険との意見が多数ある。公施設を利用する高齢者や障害者等からバリアフリーの取組への評価及び改善点を継続的に聞く場の必要性について伺う。

**回答** 障害者用駐車スペースを役場玄関近くに設置します。また、つまずき防止対策等の看板設置等を行います。利用者の皆さんの声をお聞きする機会を設けながら、バリアフリー対策の積極的な推進を行っていきます。

**牛肉フェスティバル、ホラ吹き大会等の復活について**

**質問** イベント名を聞いただけでワクワクする

ような事業が復活することは、飯館村民の元気の源になると考えるが、「牛肉フェスティバル」、「ホラ吹き大会」等原発事故前に行っていた事業の復活に向けて検討する計画があるか伺う。

**回答** 住民参加型のイベントは、「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を目指す飯館村にとって、とても大事なことです。今後、にぎわい創出事業を検討していきます。また、飯館牛の復活に向けて12戸の畜産農家が和牛の飼養を行っていますので、今後飯館牛のPRにも力を入れていきます。

**放射線量の数値をお知らせする方針及び方法について**

**質問** 人が集う、特に子どもが遊ぶ場には、

放射線量を示す数値看板等が必要ではないか。  
**回答** 安心して訪れていただけるよう、飯館村内にモニタリングポスト、役場やきこり等には屋内型の線量計を設置し、空間線量を目に見える形で公開しています。子どもが遊ぶ場等への数値看板等の設置については、村全体の施設の表示を考える中で検討します。

**行政窓口の避難先出張所の開設について**

**質問** 村民の多くが避難している自治体に、相談窓口も兼ねた避難先出張所を開設する計画があるか伺う。

**回答** 職員数や行政コストから、再度出張所開設する計画はありません。



# 審議結果

令和4年第1回（1月）臨時会では予算案件1件、その他案件4件（契約の変更）が提案され、審議の結果、原案の通り可決されました。

- 議案第 1号 令和3年度飯舘村一般会計補正予算(第9号)  
既定の予算総額に1億495万8千円を増額し、予算総額をそれぞれ187億349万4千円とする。
- 議案第 2号 特定復興再生拠点エリア造成工事請負契約の変更について  
契約の相手方 庄司建設工業株式会社  
変更額 2,178万6,600円の減額 契約金額 7億3,611万3,400円
- 議案第 3号 災害関連農村生活環境施設復旧事業・福島再生加速化交付金事業 農業集落排水管路工事(草野第2地区草野2期その2)請負契約の変更について  
契約の相手方 荏原実業株式会社 東北営業所  
変更額 1,042万8,000円の増額 契約金額 1億1,162万8,000円
- 議案第 4号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(笹峠ため池)請負契約の変更について  
契約の相手方 株式会社 小野中村  
変更額 174万7,900円の減額 契約金額 5,485万7,000円
- 議案第 5号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(広平第1ため池、広平第2ため池)請負契約の変更について  
契約の相手方 株式会社 小野中村  
変更額 205万4,800円の増額 契約金額 5,128万5,300円

令和4年第2回（3月）定例会では予算案件12件、条例案件2件、その他案件7件（指定管理者の指定、村道路線の認定、計画の変更、連携協約の締結）、人事案件2件、承認1件が提案され、審議の結果、原案の通り可決されました。

- 議案第 6号 令和3年度飯舘村一般会計補正予算(第10号)  
既定の予算総額から4億1,185万1千円を減額し、予算総額を182億9,164万3千円とする。
- 議案第 7号 令和3年度飯舘村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
既定の予算総額から1,649万3千円を減額し、予算総額を11億5,583万5千円とする。
- 議案第 8号 令和3年度飯舘村簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)  
既定の予算総額から2,965万2千円を減額し、予算総額を1億5,703万2千円とする。
- 議案第 9号 令和3年度飯舘村農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)  
既定の予算総額から276万3千円を減額し、予算総額を1億6,616万1千円とする。
- 議案第 10号 令和3年度飯舘村介護保険特別会計補正予算(第4号)  
事業勘定の予算総額に926万4千円を増額し、予算総額を11億8,002万3千円に、サービス事業勘定の予算総額から178万円を減額し、予算総額を546万1千円とする。

- 議案第11号 令和3年度飯館村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)  
既定の予算総額から4,401万8千円を減額し、予算総額を3,323万3千円とする。
- 議案第12号 令和4年度飯館村一般会計予算  
歳入歳出の予算総額はそれぞれ112億8,800万円とする。
- 議案第13号 令和4年度飯館村国民健康保険特別会計予算  
歳出歳入の予算総額はそれぞれ8億1,660万円とする。
- 議案第14号 令和4年度飯館村簡易水道事業特別会計予算  
歳入歳出の予算総額はそれぞれ1億4,447万2千円とする。
- 議案第15号 令和4年度飯館村農業集落排水事業特別会計予算  
歳入歳出の予算総額はそれぞれ5,272万6千円とする。
- 議案第16号 令和4年度飯館村介護保険特別会計予算  
事業勘定の歳入歳出の予算総額はそれぞれ11億5,118万2千円とする。
- 議案第17号 令和4年度飯館村後期高齢者医療特別会計予算  
歳入歳出の予算総額はそれぞれ7,674万7千円とする。
- 議案第18号 飯館村地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例  
飯館村地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準の条例を定めるもの。
- 議案第19号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例  
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するもの。
- 議案第20号 村民の森の指定管理者の指定について  
「一般財団法人飯館村振興公社」を指定管理者として指定するもの。  
令和4年4月1日から令和6年3月31日まで
- 議案第21号 民家園ふるさとの指定管理者の指定について  
「一般財団法人飯館村振興公社」を指定管理者として指定するもの。  
令和4年4月1日から令和6年3月31日まで
- 議案第22号 いいたて村の道の駅までい館の指定管理者の指定について  
「株式会社までいガーデンビレッジいいたて」を指定管理者として指定するもの。  
令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
- 議案第23号 メモリアルホールいいたての指定管理者の指定について  
「株式会社JAふくしま未来サービス」を指定管理者として指定するもの。  
令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
- 議案第24号 村道路線の認定について  
起点：二枚橋字町560-2先、終点：二枚橋字町511-2先を村道路線と認定するもの。
- 議案第25号 佐須辺地に係る総合整備計画の変更について  
豊栄佐須線の事業費 1億1,100万円から1億1,590万4千円に計画変更するもの。
- 議案第26号 福島市及び飯館村におけるふくしま田園中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について  
本圏域ならではの特徴を活かしつつ、圏域全体の経済成長を図り福島復興創生をけん引することを目的とする協約を締結するもの。
- 議案第27号 飯館村教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて  
遠藤 哲 氏(福島市) 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
- 議案第28号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて  
林 英滋 氏(白石行政区) 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
- 承認第 1号 専決処分の承認について  
いいたて希望の里学園の電子黒板の取得について令和4年2月14日付で専決処分をした件について承認を求めるもの(取得金額1,705万円)

# 議会の主な動き（1～3月）

- 17日
  - ・ 新人議員研修会
- 26日
  - ・ 議会運営委員会
  - ・ 全員協議会
  - ・ 第1回臨時会本会議
  - ・ 広報編集特別委員会
- 2月
  - 8日
    - ・ 全員協議会
    - ・ 産業厚生常任委員会
    - ・ 総務文教常任委員会
  - 14日
    - ・ 新人議員研修会
  - 22日
    - ・ 議会運営委員会
  - 28日
    - ・ 全員協議会
    - ・ 第2回定例会本会議（閉会）
- 3月
  - 3日
    - ・ 本会議（一般質問）
  - 4日
    - ・ 本会議（一般質問）

- 8日
  - ・ 全員協議会
  - ・ 予算審査特別委員会（個別説明）
- 9日
  - ・ 予算審査特別委員会（総括質疑）
- 10日
  - ・ 予算審査特別委員会（総括質疑）
- 14日
  - ・ 議会運営委員会
  - ・ 全員協議会
  - ・ 本会議（議案審議・閉会）
  - ・ 広報編集特別委員会

## 常任委員会の活動

総務文教・産業厚生各常任委員会は、2月8日飯館村役場内にて、所管事務調査を実施しました。

### 総務文教 常任委員会

#### ● 調査事項

①第6次総合振興計画の進捗・現状について

#### 〈所見等〉

第6次総合振興計画は前村長政権で作成したものであることから、新村長の意向とすり合わせる必要がある。また、村民に計画が浸透していないことから、単年度の目標・計画をその都度提示しながら、村民にとって分かりや



▲総務文教常任委員会の所管事務調査の様子

すく、見やすい公報を作成し、周知を図るべきである。

②行政区ヒアリングにおける各行政区の課題・要望について

#### 〈所見等〉

ヒアリングであがった要望においては、復興・創生期間中に、実態に基づいて、国・県に要望し、また、ヒアリング内容を活かした新年度の予算組みを行うべきである。

### 産業厚生 常任委員会

#### ● 調査事項

①基盤整備事業事務調査

#### 〈所見等〉

工事計画、作付計画をマッチングさせて、行政区ごとの工事委員会を立ち上げ、いかに事業の早期完了を目指すか検討すべきである。また、長期的に財

源確保のため、帰還環境整備交付金基金に積み立てをしていくべきである。



▲産業厚生常任委員会の所管事務調査の様子

### 編集後記

3月16日の福島県沖地震において、被害にあわれた村民の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。瓦や壁、道路の被害状況をみますと地震の怖さを改めて感じております。現在も余震が続いております。これ以上被害が拡大しないことを願っております。

飯館村が、水芭蕉・桜・水仙などで、色づいてきました。空気も澄んでおり、とても気持ちが良い季節ですね。天気が続き、農作業が順調に進むことを願っております。



#### 発行責任者

議長 佐藤 一郎

#### 編集

#### 広報編集特別委員会

- 委員長 高橋 孝雄
- 副委員長 佐藤 健太
- 委員 飯畑 秀夫
- 花井 秀夫
- 横山 秀人
- 佐藤 真弘